

10 千住宿 ~ 草加宿

埼玉県草加市
谷塚 ~ 草加宿

(歩行距離 1676m 21分)

歩く地図でたどる日光街道

http://nikko-kaido.jp/
JZE00512@nifty.ne.jp

草加宿明治天皇行在所跡
明治9年(1876)と同14年(1881)の二度の巡幸で大川図書の子孫の家が行在所となったことを記念した碑です。現在建物はこの地になく、大川医院の地に石碑が建てられています。

coffee time

松本脇陣跡
堀川産業の二軒先の駐車場が松本陣跡松本家跡で丸山という旅籠が交互でつとめた。

おせんさん
おせんさんは、「草加せんべい」の伝説上の創始者で、文化・文政(1804~30)のころ、おせんばあさんが売れ残りの団子をつぶして、やきもちにして売ったのがせんべいの始まりといわれています。明治8年(1875)発行の『武蔵野国郡村史』には載っていないので明治末期から盛んになったといわれます。草加駅東口のアコス広場に平成4年(1992)に像が建てられました。

八幡神社
『草加町見聞史』によれば、享保年間(1716~36)に稲荷神社を祀ったのが始まりで、安永6年(1722)に木造八幡神社を同社に併せたことにより現在の神社名になったといわれます。参道の両側に家屋が並び、街中の古社のためたずまいである。雌雄一対の獅子頭が保存されている。

葛西道石標
葛西道は日光街道ができるまえの古道。草加に残る古道の一つ。駅前通り拡幅により、「葛西道」と刻まれた道標が現在地に移設されています。

4 草加一里塚

日本橋から4里の一里塚。石関医院あたり、痕跡が全くない。「木立樓」但、左右の塚共草加宿組の内吉笹原村地内(日光・奥州・甲州道中宿村大概帳)「住時は左右に茶屋が建ち、塚の上には木のない一里塚があった」(奥州街道増補行程記)

回向院
元禄14年(1701)村民源右衛門が開山。本堂には阿彌陀三尊、善導法師、法然上人が祀られている。本堂外陣には、不動明王像、吞龍上人像が祀られている。

魚屋(千代)河岸
この道を西へ行くと、綾瀬川流域でも屈指の河岸であった。幕末この河岸を利用した草加宿16人衆の一人花又屋の戸塚弥吉宅の店と河岸の佐兵衛屋敷があった。

草加宿道路元票
埼玉県が明治44年(1911)建設の道路元票。「越ヶ谷町へ壹里三拾三町三拾間三尺 千住町へ貳里拾七町五拾三間三尺」側面に「距谷塚村管轄境貳拾四町貳間三尺」、裏面に「明治四拾四年七月建設」と刻まれている。

草加宿問屋場跡
草加宿の中心地であり、宿駅の中継点でもあった。道路がやや広くなっているのもそのためである。ここは明治期に街道にレールを敷き、軌道の上に馬車を走らせた馬車鉄道の乗降駅でもあった。

吉田家と標柱
石柱の側面に『御即位記念』大正四年(1915)十一月十日と刻まれています明治42年(1909)に旧日村の神社合祀が行われ氷川神社が草加神社と改称しました。その趣旨のもとに建立した。吉田家は取り壊されマンションとなった。

地藏堂
江戸の豪商、浅古氏が子育て地藏尊として寛文7年(1667)に建てた。旧大和屋本宅角にあった屋敷跡で現在市役所の一角にある。12月を除く毎月24日に扉が開き、この日にお参りすると子供の病気が治ると子供が語るといわれています。

おせん茶屋公園
旧日光街道に面し、近世宿場の雰囲気を感じさせる公園です。かつては草加町役場などがありました。

歴史民俗資料館
草加宿を開いた大川図書の屋敷跡に、大正15(1926)年に建設された歴史民俗資料館(旧草加小学校西校舎)は、埼玉県初の鉄筋コンクリート(RC)造校舎でした。外観はモルタル仕上げで、パラペット(人や雨水の落下を防ぐため、屋上の外周を囲むように設けられた低い壁)の正面中央最上部に見られる緩やかな山型のデザインは、この建物の芸術性の高さを象徴する部分となっています。歴史資料、民俗資料、考古資料などを展示している。

三丁目橋の石碑
草加下三町の鎮守。龍の天井絵や獅子頭がある。

草加神社
の創建年代は不詳。天正年間(1573-1592)に大宮氷川神社を勧請、氷川社と称して創建、南草加町の鎮守社であったといわれています。市役所北の信号から歩いて612m8分。

日光街道道標

三丁目橋道標

大川家本陣跡(現ソフィアマンション)と清水家本陣跡(現堀川産業本社)に、二つの石碑が建ちました。草加宿は、奥州街道、日光街道の宿町で、奥州仙台藩をはじめ、41の大名が参勤交代などで草加の宿を利用していました。「為(な)せば成(な)る。為さねば成るぬ。何事も。成らぬは人の為めさぬなりけり(何事も行動しなければ実現しない。実現しないのは行動しないからだ)」という言葉で有名な江戸時代屈指の名君ともいわれる米沢藩(現山形県)藩主上杉鷹山(うすさきよざん、1751~1822)も草加宿の本陣に宿泊したと伝えられている。

藤城家
藤城家住宅
草加宿のほぼ中央にあり、店舗は高さがあり、屋根の軒先は出桁(だしげた)を持ち出す出桁造(だしげたつくり)。開口部は立格子で装飾されており、風格ある趣の昭和初期の商家です。その後方には、重厚な造りの内蔵と外蔵が建ち、旧草加宿の典型的な屋敷景観をよく残しています。このように、藤城家住宅は江戸時代の宿町町の面影を今に伝える歴史的景観上、貴重な建物であり、登録有形文化財に登録されました。

浅古家
浅古家
明治末期に完成した建物で、日光街道に面して母屋が建つ。草加市役所は、幕末から明治にかけての豪商大和屋のあった跡。大和屋は浅古半兵衛といい、呉服屋や醸造業で発展、江戸にも20余りの支店を出して全国第2位の質屋となった。

浅古家
浅古家
明治末期に完成した建物で、日光街道に面して母屋が建つ。草加市役所は、幕末から明治にかけての豪商大和屋のあった跡。大和屋は浅古半兵衛といい、呉服屋や醸造業で発展、江戸にも20余りの支店を出して全国第2位の質屋となった。

浅古家
浅古家
明治末期に完成した建物で、日光街道に面して母屋が建つ。草加市役所は、幕末から明治にかけての豪商大和屋のあった跡。大和屋は浅古半兵衛といい、呉服屋や醸造業で発展、江戸にも20余りの支店を出して全国第2位の質屋となった。

東武鉄道草加駅
日比谷線との相互直通運転、団地造成等めざましく都市化されたこの町は、むかし池と沼が多く人馬の通行も困難で、越ヶ谷方面には、千住から八条、大相模へと大きく迂回通行していた。日光街道が整備され、幕府が街道に宿場を設けたときは、その中央に位置し「草加宿」として発展した。

グリーンベルトの道。一方通行出口。車はそんなに通らないが道は狭い。

埼玉県
草加市

吉町5
中華洋食五番
にこここ整骨院

小宮せんべい
マスタ履物店

中嶋建具店
松田自動車

火あぶり地藏

吉町4
総合衣料タカハシ

吉町3
草加一里塚

吉町2
家具のマルタカ

おせん茶屋公園
旧日光街道に面し、近世宿場の雰囲気を感じさせる公園です。かつては草加町役場などがありました。

歴史民俗資料館
草加小学校
住吉1

水川神社
大川本陣跡
ソフィア

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡

住吉
住吉町
明治天皇行在所跡